

第100回 藤野地区まちづくり会議全体会 結果報告書

日時 令和6年11月21日(木) 午後7時から午後8時30分まで
会場 藤野総合事務所4階会議室
出席者 宮野代表、今井副代表、由森委員、尾形委員、守屋委員、久保委員、
山崎(み)委員、渡辺委員、佐藤委員、井上委員、高橋委員、清水委員、
星委員、武井委員、杉本委員、森久保委員、根本委員、小山(宮)委員、
難波委員
事務局：野崎所長、斎藤副主幹、大塚主査、小室主任

[会議内容]

1 開 会

2 あいさつ (宮野代表)

3 関係機関からの連絡事項

緑区観光振興プログラムについて(緑区役所区政策課)

担当課から「緑区観光振興プログラム(骨子案)」について説明がされた。

このことについて、次のとおり委員から質問があり、担当課より回答があった。

委員：「吉野宿ふじや」は、山梨方面北側の玄関口である。5年前は平日も開館していたが、財政が切迫し、土日だけになった。

「小原宿本陣」は文化財保護課の管轄で、平日は開けている。「吉野宿ふじや」は博物館の管轄で平日は閉まっているが、「小原宿本陣」は博物館の管轄で平日も空いている。

観光の推進をするのであれば、「吉野宿ふじや」も平日を会館するなどして、PRをしてもらいたい。

区政：藤野の「吉野宿ふじや」、相模湖の「小原宿本陣」、津久井の「尾崎峯堂記念館」などの施設が、観光地として、点と点を結べるよう教育委員会と検討する。

委員：中山間地域の目指す将来像の中で、この事業の着地点はどこか。

ハイカーなどが来ても、お金を落としてもらえるような場所がない。「ふじのね」を利用しているかわからない。観光客がお金を落とせる場所はどこなのか。また、サイクリングが来たらうのに迷惑だという意見はご存知か。ハイカーも人の土地関係なく入ってきてしまうこともある。

自転車の事故やハイカーが山頂で酒を飲んでレスキューを呼ぶこともある。そこも把握して取組んでほしい。

区政：ただ来るだけでなく、地域が活性化できるような、地元にお金を落とせるようなことも踏まえて着地点を決めていきたい。

ハイカーやツーリングも地域の方にとって迷惑ということについては、ハード的な面や広い視野での受け入れ態勢も検討していきたい。

委員：県道と市道は以前年2回草刈りをされていたが、今では年1回で、行う場所と行わない場所がある。みんなが楽しく来たらうための配慮を考えてほしい。

委員：緑区内で地区ごとの予算の配分はあるのか。ハード面への予算配分も検討してほしい。

区政：これから検討していく。

4 議 題

(1) 令和6年度第3回環境部会の結果報告について

第3回環境部会の結果について、資料「環境部会会議結果報告書」をもとに部会長から報告があった。

(2) 令和6年度第3回藤野未来部会の結果報告について

第3回藤野未来部会の結果について、資料「藤野未来部会会議結果報告書」及び「藤野未来部会プロジェクト（案）」をもとに部会長から報告があった。

(3) 藤野地区まちづくりを考える懇談会について

※実施日 令和7年2月13日（木）18：00～

代表より、まちづくりを考える懇談会のテーマ決めについて説明

環境部会テーマ（案）『有害鳥獣対策について』

藤野未来部会テーマ（案）『藤野地区における人口の減少について』

① 環境部会、藤野未来部会それぞれテーマを出す。（テーマ2つ）

② 環境部会、藤野未来部会どちらか一つの部会からテーマを出す。（テーマ1つ）

どちらにするか決めてもらいたい。

●委員意見

- ・市に藤野地区の課題を知ってもらうことが大事。テーマを2つあげ、各部局に認識してもらうほうがよい。ただし、前に進むかどうかは、こちらの切り口の問題で仕掛けを考えておかないと、市がやっていますだけで終わってしまう。事前の詰めが大事。
- ・前は、沢井川の環境整備について検討したが、市の実践例なども話していただき、よい議論ができた。沢井川の環境整備を続けており、今回、結果報告をし、今後はこんなこともして欲しいなど、前段で触れたほうがよいのではないか。
- ・有害鳥獣対策については、被害に困っているだけではなく、具体的に何をお願いしたいのか、今、地域でやっている対策に対し、市にどのような協力して欲しいかなど具体的に提示し議論しないと前に進まない。
- ・鳥獣対策は10年くらい前から活動している。地域がやらないと成果が出ない。
- ・鳥獣の場合は、サルや熊など県も交えないといけない場合もある。
- ・藤野未来部会8割。沢井川の報告を2割でよい。
- ・委員任期は2年だが、自治会代表など今年度だけという委員もいるので、今年度各部会で決めた2つのテーマ出しでよいのではないか。
- ・藤野地区の未来をテーマにすれば、鳥獣問題も絡んでくる。
- ・2つとも日本全国の問題でもあるが、鳥獣問題は、ヤマビルなどの影響で藤野の観光にも影響しているため、身近な問題である鳥獣問題がよいのではないか。
- ・今、抱えている問題を伝えるためにも2つのテーマのほうがよい。
- ・各部会でそれぞれ検討しているため、2つのテーマでおこなったほうがよい。
- ・単なる要望ではなく藤野地区が前進するため、やっているか、また、やってきた事を伝える必要がある。
- ・人口問題などテーマが大きい。地区でやっていることを伝えるとなると、沢井川の環境整備など実際にやっていることをテーマにしたほうがよい。
- ・各部会、隔年でテーマを出しても、1年の差のため、影響はないと思われる。
- ・ピックアップされた課題なので具体的に伝えられるのであれば2つのテーマでよいと思う。
- ・テーマが大きいので、もう少し掘り起こしたほうがよい。
- ・人口減少は、8,000人を切ってしまう、こっちの方が急を要すると思う。
- ・ウエイトを考えながら、2つのテーマにしたほうが市に藤野を知ってもらえる。
- ・具体的に何をしてほしいのか。どこを手伝ってほしいのか。をしっかりとめ、話の流れをスムーズにいくようにすれば、2つのテーマでも問題ないと思う。
- ・単年でテーマを議論するより、複数年かけて同じテーマで議論したほうがよい。
- ・藤野で一番困っていることをテーマにしたほうがよい。

・人口減少問題について、明確な答えはなくても、市長のビジョンや、方針を聞いてみたい。

テーマ 2 つ	12
テーマ 1 つ	2
沢井川報告	2
未来重点	3
環境優先	1

委員の意見より、3つのテーマとなる。

- ・『沢井川の経過、これからどのような支援をして欲しいのか。』
- ・『有害鳥獣対策について』
- ・『人口の減少について』

時間を考えると3つは難しい。

◆結果

- ① 人口減少に鳥獣問題も含めたものをメインテーマにする。
- ② 沢井川の経過・今後のやり方・協働したいことを伝える。

◆今後の流れ

各部会でそれぞれ決めてテーマシートを提出する。
提出された内容を1月の全体会で報告、検討する。

5 その他

(1) アンケート結果の報告

藤野中学校で実施した『10年後の藤野』に関するアンケート結果（速報版）について、事務局より説明

(2) 観光協会より

観光協会では移住定住で、空き家を斡旋している。10年近く活動していて、年間15件ほど斡旋しているが、案内できる空き家が少ないので、もし空き家を貸したいという方、土地を売りたいという方がいたら、観光協会に紹介してほしい。

(3) 次回会議

藤野未来部会：令和6年12月10日（火）

環境部会：令和6年12月6日（金）

全体会：令和7年1月16日（木）

6 閉 会（今井副代表）

以 上